

**第68回 全国高校スケート 第2日**

▽1回戦(ふくちアイスアリーナ)  
 北海道栄 14(4)4(0)0 八学光星  
 (北海道) 4(0)0(0)0  
 △得点者【北】金谷2、菅原、洗2、佐藤3、リー・ヒョンレ、青木2、前花、本地、北川

▽1回戦(ふくちアイスアリーナ)  
 北海道栄 14(4)4(0)0 八学光星  
 (北海道) 4(0)0(0)0  
 △得点者【北】金谷2、菅原、洗2、佐藤3、リー・ヒョンレ、青木2、前花、本地、北川

【評】八学光星は試合開始直後から攻守ともに圧倒され、防戦一方の展開に。第1ピリオド開始30秒すぎに先制点を許すと、以降も次々失点。第2ピリオドで6点、第3ピリオドで4点を失い、計14失点の大敗を喫した。攻撃面でも、相手の

第68回 全国高校スケート 第2日

制し、八戸は明大中野(東京)に2-1で競り勝って2回戦に駒を進めた。八戸工は北海(北海道)に0-6、八学光星は北海道栄に0-14でそれぞれ敗れた。第3日の24日は、フィギュアが愛知県名古屋市中区で開幕。スピードは男子1000メートルと女子3000メートルを行う。アイスホッケーは2回戦8試合を行い、八工大(関西第一(大阪))と、八戸が埼玉栄と対戦する。

(本紙取材班)



【男子500m】県勢最高の16位となった松本(八学光星)



【女子500m】県勢で唯一出場の宮下(八学光星)は25位

松本16位に「満足」  
 ○…男子500メートルで16位となった松本(八学光星)は「自分でも満足」と納得の様子。得意の足を使った滑りを伸ばそう

とウエイトトレーニングや、ランニングなどで筋力や肺機能向上に努め、レースではその足を生かしたスタートタッチやコーナーリングを披露し

続いて出場する24日の1000メートルと26日の2000メートルに向けては「今日のような滑りができれば」。高校最後の晴れ舞台に有終の美を誓った。

宮下、自己新届かず  
 ○…県勢では唯一女子500メートルに出場した宮下(八学光星)は25位。緊張から水を握えきれなかったことや、45秒00と県スプリントで今月16日に記録した自己新の44秒83に届かなかったことを悔しがった。

レースでは苦手のスタートを冷静に決めると得意のバックスタートで一伸びしフィニッシュ。「思い切った滑りはできた」と評価した。「思ったよりタイムは出ていた。明日の1000メートルはいけるとこまで飛ばし、早いラップを出したい」

【1回戦・八学光星—北海道栄】第2ピリオド、自陣ゴールを守る八学光星の選手たち(黄)は「ふくちアイスアリーナ」で激しい当たり力負けを果たす」と語った。



【1回戦・八学光星—北海道栄】第2ピリオド、自陣ゴールを守る八学光星の選手たち(黄)は「ふくちアイスアリーナ」で激しい当たり力負けを果たす」と語った。

攻め込まれる展開が続いた八学光星は、激しいチェックでバックをキープできず、有効なシュートをほとんど打てなかった。相手の激しい当たりに対応するため、フェンス際やゴール付近でバックをキープする練習を重ねてきたが、実戦で対応しきれなかった。チームのエース、FW工藤は「主軸として何とか1点を取れたかった」と唇をかんだ。

3年生引退後の部員数は1、2年生合わせて6人のみ。西村監督は「新たに入る部員と力を合わせ、来年こそは初戦突破を果たす」と語った。